



新体制でスタート

今年度新たに就任した町内公民館長会長からあいさつをいただきました。



梓川地区町内公民館長会長

小松 秀隆



新緑のさわやかな季節となりました。

田も水が入り緑の面積が日ごとに多くなっていく今日この頃です。

今年度も、公民館活動がスタートしました。

この度、町内公民館長会長を引き受けることになり困惑しております。一年間事務局をはじめ関係者の皆様と共に、公民館事業を進めてまいりたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

「公民館は社会教育法第二十条の目的に従い、地域住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興等、その事業を通じて明朗で健全な地域社会の創造を目的とする」と運営規程に書かれております。

上記目的を達成するため多数の事業計画が検討されており、地域住民の参加をお待ちしております。日ごろご無沙汰している方々とのつながりを強めるためにもぜひ参加してください。

今年度から松本市では「地域づくりセンター」を開設し、地域の絆づくりを公民館が担当するようになっております。各町会と公民館が連携して地域住民が参加できる事業を進めていただくようお願い申し上げます。

公民館事業への参加者が一人でも増えることを祈念してあいさつとします。

あずさっ子 みまもり隊 紹介式

五月八日、梓川小学校の体育館にて、あずさっ子みまもり隊の紹介式が行われました。子どもたちの登下校を中



心に通学路や交差点などで見守り活動をしているメンバーは現在二十人で、当日は十四人のみまもり隊の方が小学校児童、職員に紹介されました。

あずさっ子みまもり隊の丸山弘さん(南大妻)が代表として三点にふれあいさつをしました。一つ目として「気持ちの良いあいさつをして一日が気持ちよく過ごせる」二つ目として「横断歩道で止まってくれた車の運転手へのあいさつが良くできて感心する。これからも続けて欲しい」三つ目として「上級生が下級生に気を配り、面倒をよく見てくれている。学年を越えた交流が素晴らしい」と、活動を通じて、気がついたことや感心したことについて子どもたちに伝えていました。

交通安全教室



▲しっかりと手をあげて(1年生)

▼自転車の交通ルールを学ぶ(3年生)





う少し早く来ればと思いまし
た。林の中には小川が流れて

いて、水
芭蕉、ク
レソン、
忘れな
草などが
生え、シ
マドジョ
ウ、ホト
ケドジョ
ウ、スナ

地域の自然を守る —めだかの学校—

昔のままの自然
が多く残されてい
る場所を守ろう
と、平成七年に村
教育委員会と白
鳥の会のメンバ―

により梓川矢橋地
籍の河川敷に「め
だかの学校」が開
設されました。日
頃ボランティアで
管理をされている
上立田の逸見泰明
さんの案内で散策
をすると、滅多に

見ることが出来な
い樹木、植物、生
物が生息してい
ることに驚きまし
た。ここにはコブ
シの木が五十本以
上あり、四月中頃
に白い花が咲き綺
麗とのことで、も

ヤツメが生息しています。
逸見さんは皇居吹上御苑内
の自然観察会に行つてから、
自然のままにしている風景に
感銘し、それを真似ているそ
うです。

この場所は自然の宝庫で野
鳥も多く、カメラの愛好家も
よく訪れるようで、遠くは宮
崎県からきた人もいたそうで
す。大勢の人に見てもらおうの
はいいのですが、中には心な
い行為をする人もいるとのこ
とでした。

各地で春祭りが開催されま
した。その中で大宮熱田神社
では四月二十八日、二十九日
に地区最大の祭典が行われま
した。大久保、丸田、上立田、
下立田、南北条、北々条の六
町会から五台の「ぶてん」(山
車)を引いて大宮熱田神社に
向かい伝統の獅子
舞を奉納します。

獅子舞は国家

安康、家内安全を祈る悪魔ば
らいの意味を込めて舞われま
す。お獅子に頭を噛んでもら
うと一年間無病息災で過ごせ
るとも言われ親御さんにお獅
子に近づけられた思い出のあ
る人もいるのではないでしょ
うか。
ぶてんには太鼓が備え付け
られ小学生が太鼓を叩きなが

春祭り —各地でにぎわい—

にぎわい

ちんを手
にして囲
む大きい

そのころ拜殿では祭典で一
番の祭事が始まります。拜殿
の後の扉が開けられ拜殿が本
殿と一体になります。室町時
代を思い起こすような衣装を
まとった宮司が山海の恵みを
お供えしていきます。そして
今宵の最後のみこ舞の奉納を

このような自然を後世に
残していくには逸見さんのよ



めだかの学校を見守る逸見さん

うに、地元を愛する人々で見
守つていく必要があると痛感
すると同時に、この二十年の
間手をかけ自然や景観を守つ
てきたことに感謝したいと思
います。

散策すること二時間、あつ
という間に時が過ぎていきま
した。途中、毒蛇に会い怖い
こともありましたが、帰りが
けにキジを見る事ができまし
た。五月末には遊歩道にアカ
シアの花が咲くとのことで見
に来ようと思いました。

します。そこに各町会のぶて
んは順番に拜殿前へ到着し、
その年の代表の町会が神楽殿
で獅子舞を奉納します。その
後四町会の獅子舞が同時に舞
われ祭りの最後を飾ります。
祭りを担う若い世代が少
なくなり祭りをを行うのも大変
になってきていると思いま
すが、地域の伝統が良い形で続
けられていくには大勢の方が
力を持ち寄つて応援していく
ことが大切だと感じました。



雑記帳

最近、三人の子どもたちを
見ていて「大きくなった」と
改めて思う。すくすくと健康
に成長してくれていることは、
本当にありがたい。

その中の末っ子長男は、七
か月という期間で約一五〇〇
グラムの未熟児で誕生した。
生まれた直後は自発呼吸もで
きず、直ぐに保育器に入れら
れ、人工呼吸器や多くの点滴
をされた状態でした。

そんな我が子を目の当たり
にして、痛々しく辛く感じら
れたが、一生懸命に生きよう
としている長男に「自分がしつ
かりしないといけない」と教
えられた。

誕生から退院までの二カ月
間は長男にとつて多くの試練
があった。自発呼吸やチュー
ブを使って、直接胃まで入れ
ていた母乳を自ら飲める状態
にすることが、数回の手術など。

当時を振り返ると毎日が
大変で、不安などもあったが
周りの方々に支えられること
で一步一步成長し、試練を乗
り越えられた長男を見ている
と、そんな苦労もいい思い出
となっている。命の尊さと生
命の強さを学ぶ良い経験と
なった。